

# 令和2年度 第3回市民と市長の座談会

## 会 議 報 告

事務局 企画財政部広報秘書課広聴係

開催日時	令和2年11月15日（日）午後2時00分～4時00分
開催場所	婦人会館
参加者	男性 8名 女性 5名 計13名
会議次第	1 開 会 2 市長あいさつ（市政報告） 3 懇 談 フリーテーマ 4 閉 会
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 都市計画道路について</li><li>・ 市の合併・分割について</li><li>・ 公共施設について</li><li>・ 市議会議員の定数について</li><li>・ 新庁舎の竣工時期について</li><li>・ 印鑑レスの取組みについて</li><li>・ 道路の整備状況について</li><li>・ 自転車の交通安全対策について</li><li>・ 東センターの階段昇降機について</li><li>・ ベンチの設置について</li><li>・ 新庁舎の耐用年数について</li><li>・ 新庁舎・（仮称）福社会館の耐用構造について</li><li>・ 新庁舎建設について</li><li>・ 路側帯の色について</li><li>・ 地域のつながりについて</li><li>・ 市民協働支援センター準備室について</li><li>・ ごみ行政について</li></ul>
懇談内容	別紙のとおり
その他	手話通訳者 2名 保育士 2名

## 令和2年度第3回 市民と市長の座談会

令和2年11月15日

### 1 開 会

#### ○司会者

皆様、こんにちは。お時間になりましたので、開始させていただければと思います。本日は御参加いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の司会進行を務めさせていただきます広報秘書課長の廣田と申します。どうぞよろしくお願い致します。今回、新型コロナウイルス感染症の防止対策としまして、着座のまま、マスク着用のままで進行させていただきますので、御了承いただければと思います。初めに配付物の確認をさせていただきます。まず、次第。2枚目にアンケート。続きまして、資料としまして令和2年度施政方針。続きまして、令和2年度小金井市予算の概要。こちらは、主な事業の紹介ということでございまして、14ページから26ページまでを抜粋したものでございます。続きまして、新型コロナウイルス感染症小金井市緊急対応方針（第2弾）というものになります。続きまして、同じく小金井市緊急対応方針（第3弾）という形になります。続きまして、市報なんですけれども「市報こがねい」7月1日号5面のPDF版になります。こちらは、令和2年第2回小金井市議会定例会の補正予算における新型コロナウイルス感染症対策についての記事になりまして、緊急対応方針（第2弾）で実施する施策の予算規模を示したものでございます。続きまして、「市報こがねい」9月1日号の第4面のPDF版になります。こちらにつきましましては、令和2年第2回小金井市議会臨時会補正予算における新型コロナウイルス感染症対策についての記事でございまして、緊急対応方針（第3弾）で実施する施策の予算規模を示したものでございます。続いてこちらの資料なんですけれども、10月21日、令和2年第3回小金井市議会臨時会補正予算における新型コロナウイルス感染症対策についての予算規模を示した資料という形になります。あと、資料としまして「小金井てくてくMAP」。続きまして、「みんなで築こう 人権の世紀」のリーフレット。あと、白黒なんですけれども「12月3日～9日は障害者週間です。」というチラシになりまして、補足で説明なんです。映画上映会というのがこちらに書いてございます。こちらにつきましましては、明日、11月16日までの申込みという形で

一応締切りをさせていただいておりますので、もしお時間のある方は、入場無料で事前申込み制となっておりますので、ぜひ御参加いただけるとありがたいかなと思います。あらかじめ皆様に個別に御用意した資料については、以上の10点になりますので、よろしくお願ひします。このほか、受付のほうで自由にお取りいただけるものとしましては、「小金井市はこんなところですよ。」というリーフレット、「小金井の坂と遊歩道マップ」、あと「防災用品あっせんのお知らせ」、こちらの3点となります。もし過不足等ございましたら、受付の者におっしゃっていただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。それでは、開催に当たりまして、事務局より御説明を申し上げます。この座談会につきましては、平成28年度から開始したものでございまして、毎年、年に4回程度、市民の皆様と市長とのフリートークということで開催しておりまして、本日は本年度の第3回目の開催ということになります。本日の進め方でございますけれども、まず初めに市政報告ということで、重要課題の進捗状況等につきまして、市長の西岡より簡単に報告をさせていただきたいと思ひます。その後、意見交換ということで、皆様から自由に御発言いただきまして、それに対して市長がお答えするという形で進めさせていただきたいと思ひます。懇談に入る前に、事務局より5点ほど御了承いただければと存じます。まず1点目、懇談中は、議事録作成を作成するというので、録音をさせていただきたいと思ひます。2点目が、懇談の様子を写真に撮らせていただきまして、ホームページに掲載させていただきたいと思ひしております。3点目が、懇談中は、御発言される時にも含めまして、必ずマスクの着用をお願ひしたいと思ひます。4点目、御発言をされる方にはマイクをお渡しするんですけれども、その都度、消毒をさせていただきますので、通常よりお時間がかかるかもしれませんが、御了承いただければと思ひます。5点目ですけれども、本日の終了時間は午後4時を予定しております。会場の都合上、終了後につきましては速やかに御退場いただきますようお願い申し上げます。では、次第に従いまして、市長の西岡より御挨拶と市政報告をさせていただきます。

○市民A

挨拶は何分ですか。

○司会者

終了時間ですか。

○市民A

市長の挨拶は何分ですか。

○司会者

25分ぐらい。

○市民A

25分。

○司会者

はい。よろしくお願いします。

## 2 市長あいさつ（市政報告）

○西岡市長

皆様、こんにちは。小金井市長の西岡真一郎でございます。本日は、日曜日のお天気のよい秋空の下ではございますが、市民と市長の座談会に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。今日は貴重な機会でございますから、1人でも多くの皆様方から様々な御意見・御要望などお聞かせいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。新型コロナウイルス感染防止対策といたしまして、私自身も常時マスクを着用したままお話をさせていただきますので、どうか御理解のほどよろしくお願いいたします。

この座談会は、市民の方との対話の場を設けるために、私が平成27年度に市長に就任させていただいた翌年度、平成28年度から開催しているものでございます。毎年、年に4回開催しておりまして、今年で5年目を迎えたところでございます。通常は、皆様に気軽にお越しいただけるように、事前の申込み等という形は取っておりませんでした。また、座席につきましても、もっと皆さんとの対話ができるように、線形状に輪になる形で小さく並べて開催していたところでございますが、今年は新型コロナウイルス感染防止の観点から申込み制により人数も制限させていただきまして、また、お客様同士が密にならないよう、間隔を空けて座席を配置させていただいておりますので、御理解と御協力をお願い

します。人数制限いたしましたけれども、申込みをされた方全てが対象となってございますので、その旨、御連絡させていただきます。また、この座談会につきましては、市民の皆様から様々なことにつきまして御意見をいただき、そういった声を市政運営の参考にしたいと考えております。日頃から市政に対して感じていることや御提案など、忌憚のない御意見をお願いしたいと思います。皆様から御意見をいただく前に、私のほうから25分弱お時間をいただきまして、現在の近況状況や、皆様方の最も関心の高い新型コロナウイルス感染症対策への取組状況、そういったことにつきまして御報告をさせていただきたいと思っております。お手元の資料を見ながらお聞きいただければ幸いです。最初に、皆様方から最も関心の高い、小金井市の新型コロナウイルス感染症対策についてでございます。毎日、新聞などでは、東京都内、各自治体の感染者状況などが公表されているところでございます。この数日、全国、全体の1日当たりの感染者数も、過去の記録を更新するほど、第3波と言われているような、感染拡大が深刻な状況となっております。私ども小金井市といたしましても、東京都、保健所、小金井市医師会など、関係機関の方々と鋭意連携をしながら、市民の皆様方の命と健康、そして地域コミュニティを守るために、日夜様々な取組を展開しているところでございます。この未知のウイルスに対するワクチンや特効薬は、現在開発途上ということであります。去る5月25日には、国による緊急事態宣言が解除はされましたけれども、その後の感染の状況は収まらず、患者の発生数は今もなお予断を許さない状況となっております。小金井市といたしましても、感染拡大の防止に連日連夜取り組んでいるところでございます。市民の皆様方には、感染しない・感染させない生活様式、三密を避けていただくように、そしてソーシャルディスタンスをなるべく取っていただきますように、またマスクや手洗い、換気の徹底などについて、常に発信をさせていただいているところであります。多くの市民の皆様方に、感染予防対策に鋭意取り組んでいただいております。本当に、改めて御礼と感謝を申し上げます。市内の感染者数ですが、昨日11月14日時点、小金井市では、陽性者の累計数は150名ということであります。そのうち、退院等を既にされた方は、11月13日時点の公表数であります。137名ということでございます。何よりも、感染しない・感染させない行動や生活様式をしっかりと定着させていくこと、そして小金井市からも、担当職員にも、私も常々、私自身も心がけておりますけれども、情報発信を徹底するということが、今、鋭意、力を尽くしているところでございます。コロナにつきましては、様々なメディア、また多くの方々から様々な情報が発信されているところでございますが、振り返ってみますと、その

情報が本当に正しかったかどうか、その後訂正されたこともあります。常に正しい情報を市としても発信するよう心がけておりますし、また、デジタル・ディバイドと申しましうか、緊急性の高いものはホームページやツイッター、SNSなど、インターネットを通じてお伝えする情報が比較的多くなってしまうのですが、全ての市民の方々がそういった環境にあるわけではありませんので、広報、掲示板、「市報こがねい」、時に回覧板、ＣｏＣｏバスの広告掲示など、様々のツールをフル活用いたしまして、情報の発信に努めているところであります。この間、小金井市では、新型コロナウイルス感染拡大に対応すべく、市民生活を守るために、４月２４日には新型コロナウイルス感染症小金井市緊急対応方針第１弾、その後第２弾、第３弾を策定し、様々な取組を展開しております。お配りしてございます資料は、第１弾から第３弾までの取組の内容や予算額などについて、まとめたものをお配りしているところでございます。小金井市が、国や東京都の補助制度や臨時交付金を活用いたしました小金井市独自の様々な取組、特別定額給付金を除きますと、現時点までに、既に総額で約２０億円を超える感染症対策や、市民生活や事業者の皆様方を守るための様々な支援策を、今鋭意取り組んでいるところであります。もう間もなく、プレミアム商品券の利用がいよいよできるようになります。大変多くの方々にお申込みいただいておりますので、抽選となってしまいましたが、こういった事業者の方々が市内の地域経済を守れるような取組、あるいはアーティスト支援——出演の機会が激減してしまっているミュージシャンやアーティストの方々の活動を支援するような取組、動画の募集なども行っているところであります。そして、何よりも非常に重要なのは、感染症対策でございます。小金井市の場合は、独自の保健所を持っている自治体ではありません。多摩地域でも、独自の保健所を持っているのは中核市などであります。町田市や八王子市のみになりまして、その他の自治体２４市は、東京都の保健所と連携をした様々な対策に取り組んでいるところであります。小金井市の場合は東京都立多摩府中保健所、こちらの圏域の構成市ということになりまして、保健所の皆様方と日々連携を取りながら、そして小金井市医師会の皆様方とも緊密な連携や情報発信をしながら、感染症対策に取り組んでいるところであります。現在、インフルエンザの蔓延期がやってくるという見通しの中、様々な対策に取り組んでおりますが、インフルエンザの予防接種もスタートいたしました。東京都の補助制度などを活用いたしまして、６５歳以上の方々には自己負担なく予防接種を打っていただいておりますので、これまで以上に多くの方々の接種が行われているところであります。当面の感染症対策の話をさせていただきますと、１２月１３日から小金井市独自の、

医師会と連携をいたしました発熱検査・診療の実施を行わせていただきます。こちらは、休日診療医療機関における新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの感染リスク軽減のため、休日、祝日、年末年始、医療機関が、市民の方々が通院できる、急な発熱があったときに検査ができる、そういう体制を構築すべきであるという医師会の先生方からの御提言を踏まえ、小金井市の保健センターに、初めて市として独自の発熱検査・診療の体制を整えます。来週から、改修工事などを行わせていただきます。保健センターは、日曜日、祝日、年末年始ということでありまして、子ども家庭支援センターやファミリー・サポート・センター、健康課なども入っており、様々の事業が展開されているところですが、この休日・祝日の発熱検査・診療センターを、他の事業が行われていない日に開催いたします。そういった意味で、感染のリスクを発生させないように、医師会の先生方と今準備を整えているところでもあります。こちらの利用につきましては、医療機関等からの予約によって診療・検査をしていただくということでございます。また、いよいよ新型コロナウイルスワクチンの接種に向けた準備も整えていかなければいけない状況であります。既に国や、また政府が設置している分科会などからも、ワクチン、これは全国民が対象となりますが、小金井市も12万人いらっしゃいますので、恐らくこの何十年かで経験したことがないような事務体制を構築しなければなりません。この準備も、これからいよいよ取りかかる段に来ているところでもあります。その他新型コロナウイルスの感染症対策につきましては、様々なことに取り組んでいるところでもあります。PCR検査などの拡充、そして小中学校における環境整備、また臨時休校などに備える意味も込めまして、小金井市のGIGAスクール構想、1人1台、7,700人分の端末を用意させていただいておりまして、いざ臨時休校になったときにも学びをしっかりと継続できるよう、今、そういった取り組みに一生懸命取り組んでいるところでもあります。また、学生の方々への支援、あるいは地域経済を守るための様々な取組に、鋭意取り組んでいるところでもあります。現在、新たな緊急対応方針の第4弾を策定しているところございまして、11月中にも公表できますように、また11月30日からは小金井市議会の第4回定例会が開会いたしますので、その市議会に上程をさせていただき補正予算案の中にも、新たな新型コロナウイルスの関連対策費を盛り込み、上程をさせていただきたいと考えているところでございます。新型コロナウイルスに関しましては、様々な御質問や御意見があろうかと思っておりますので、この後ぜひお声を聞かせていただきたいと思います。今年の6月、7月だったと思いますが、毎年実施している2,000人の方々を対象とした「市長への手紙」というアンケートを発

送しております。今年はその項目の中に、新型コロナウイルスに対する困り事などについての項目を設けまして、市民の方々からいろいろなお声をいただきました。様々なお声がある中でも特徴的でありましたのは、65歳以上の御高齢者の方々のお声として多かったのが、もっとインターネットの環境が整備された、つまり御自身ももっともスマホやパソコンなどを通じて情報を得られるようにしたいんですけれども、なかなかそういう取組ができない、情報がほかの人に比べて少ないのではないかと、こういったお声が高かったんですね。そういった意味も込めまして、小金井市も65歳以上の方が約2万7,000人いらっしゃるんですけれども、常にスマホを使ってLINEでお孫さんなどとテレビカメラで、ライブで会話をされている方ももちろんいらっしゃると思いますが、なかなか不得手、あるいはそういうことに取り組みたいけれどもなかなか機会がないという方もいらっしゃいます。市としても、そういった方々に何らかの御支援ができるように、今そういった取組の検討をしているところでございます。それでは、その他の事項で御報告をさせていただきますたいと思います。本市の最優先課題でございます可燃ごみの処理についてでございます。日野市、国分寺市と小金井市の3市で、可燃ごみの共同処理を行うことを目的として設立をいたしました浅川清流環境組合におきましては、本年、令和2年4月1日から、日野市内での可燃ごみ処理施設の本格稼働を開始いたしました。およそ13年間にわたって、小金井市は独自の。

○市民B

どこかに書いてありますか。

○西岡市長

可燃ごみの件については、資料は出ておりません。すみません。私の口頭での発言となります。13年間にわたる広域支援を、小金井市はいただいてまいりました。その間、小金井市は、市民の皆様方にごみの減量、ごみの分別に一生懸命取り組んでいただきました。本当にありがとうございます。これからも、小金井市はこういった経験を踏まえまして、引き続きごみの減量や分別にしっかり取り組んでまいりたい。

○市民B

すみません。日野と小金井と、どことおっしゃいましたか。



○西岡市長

日野市と小金井市と国分寺市の3市でございます。

○市民B

失礼しました。

○西岡市長

4月の1日から既に本格稼働しております。なお、この新しい施設につきましては、本来は5月中から見学ができる運びでありましたけれども、新型コロナウイルスの関係で見学は中止となっております。今も感染が拡大しておりますので、その頃になりますと新たな方針が出るかもしれませんが、現時点では来年1月の中旬を目途に改めて見学を実施できるよう、今準備を進めているところでございます。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせをさせていただきますので、そのときは、もし御覧いただけるような環境にあれば、ぜひ新しい可燃ごみ処理施設、御見学いただければと思っております。いずれにしましても、小金井市は長きにわたりまして、多摩地域の皆様、そして新可燃ごみ処理施設周辺にお住まいの日野市民の皆様方の御理解、御支援、本当に温かい、小金井市が苦しいときには助けていただいたということに、感謝の気持ちを決して忘れることなく、市長といたしましても、市民の皆様方と引き続き努力してまいりたいと思っております。本日お集まりの皆様方におかれましても、可燃ごみ処理施設周辺にお住まいの皆様をはじめといたしました、日野市民の皆様及び関係者の皆様の御負担を少しでも軽減するため、ごみの減量や資源化の推進に向けまして、引き続きの御理解と御協力をお願い申し上げます。改めまして、平成19年4月以降、長年にわたり御支援をいただきました多摩地域の各団体の施設周辺にお住まいの皆様、並びに全ての関係者の皆様に厚く御礼を申し上げたいと思っております。続きまして、駅周辺のまちづくりについてでございます。武蔵小金井駅南口第2地区市街地再開発事業が、いよいよ完成しました。長い間の課題でありました。最初の構想から含めると、半世紀近くにわたって取り組まれてきた小金井市の1つの大きな課題でございました。去る6月30日には、商業施設、ソコラ武蔵小金井クロスがグランドオープンいたしました。そして、716戸の住宅部分も整備され、現在は分譲も進んでいるところでございます。この度オープンしましたソコラ武蔵小金井クロスでは、飲食店やコ

コンビニエンスストア、家電、衣料品店などなど様々な店舗のほか、郵便局や金融機関などのサービス、クリニックなどもでき、皆様の生活も大変便利になったものと考えております。私といたしましても、新たなにぎわいの場が生まれましたことを大変うれしく思っているところであります。11月1日には、ソコラ武蔵小金井クロスの中央広場におきまして、この地区としては最大となるイルミネーションの点灯も始まりました。夜の街にも、温かく色鮮やかな光をともしていただいています。緊急事態宣言発令中には、ツインタワーの最上階で、医療従事者の皆様方に感謝、そしてエールを送るためのブルーライトを点灯していただきました。本当にありがたい取組だなと思っております。新たに誕生したこの街が、人々が行き交うにぎわいの拠点として、将来にわたり皆様に愛され、発展していくことを心から願っているところであります。また、御当地の皆様方には非常に関心の高い東小金井駅北口の土地区画整理事業にも、現在、鋭意取り組んでいるところでございます。東小金井駅の北口の区画整理事業につきましては、ロータリーを現在整備してまいりました。バスシェルター、新たな上屋根も整備をされまして、そして5本の桜を植樹させていただきました。今年度中には、東京小金井ロータリークラブという奉仕団体の皆様方から時計塔の目録を頂いておりますが、この新しい時計塔がこれから設置されます。東小金井駅北口の区画整理事業は、小金井市の東部地域の将来やまちづくりにとりまして、とても大切な事業であります。これからも、市民の皆様方の御期待に応えられますように、そして地権者の皆様方にも御理解をいただきながら、この事業を鋭意進めてまいりたいと考えているところでございます。現在の小金井市の人口でありますけれども、今年の11月1日現在、小金井市の人口は12万3,458名となっております。現在、小金井市は、人口の微増傾向がずっと継続しております。ちなみに令和2年度、毎月東京都から発表される統計がありますが、市区町村ごとの人口の増加率が発表されておりますが、6月、7月、8月、9月は小金井市が多摩地域で1番。1位ということでもあります。都内でも3位であったり、上位ということございまして、特にファミリー世帯の方々の転入超過という状況が続いております。子どもたちの人数も増えておりまして、将来の小金井市民の皆様方が、伸び伸びと元気に健やかに育つ街でありたいと考えているところでございます。市長就任以来、待機児童の解消に、特に全力を挙げて取り組んでまいりました。その結果、平成27年4月には、保育園の全定員数は2,007人でありましたが、今年の4月には3,255人まで増えました。そして、今年度の新規定員を増やし、来年4月までには6園の認可保育所を新たに新設し、新規定員増410名、定員総数は3,665人を見込んでいる

ところでございます。2,007人であった定員数が3,665人です。しかしながら、今年4月1日現在の待機児童数は97名ということでございます。喫緊の最重要課題と位置づけて、鋭意取り組んでまいりましたが、いまだに達成できていない状況です。引き続き、子育て世代の皆様が多様なニーズに応えられるよう、努力してまいります。小学校、中学校の児童数も増えてまいります。学童保育の利用者も増えてまいります。学童保育の大規模化、また小金井の公立小中学校の適切・適正な運営ということについてももしっかり取り組んでまいりたい。私としては、小金井という街が子育て、教育環境に、もちろん高齢福祉や障害福祉にも一生懸命取り組んでまいります。未来がある子どもたちが元気に育つ、将来の小金井市民の方々が、この街小金井をついの住みかを選んでいただけるような、そういう街でありたいと常々私は感じてまいりました。引き続き努力してまいります。また、公共施設の関係でも、様々な取組を行っております。重要な点のみを御報告いたしますが、先ほど可燃ごみ処理施設のお話をしましたが、今後はプラスチック、瓶、缶、粗大ごみ、こういった不燃系ごみや資源物の清掃関連施設の整備を2か所で展開してまいります。中間処理場の老朽化、暫定となっている缶・ペットボトル施設の老朽化、こういった課題を解決するために、二枚橋の焼却場跡地、そしてその後には貫井北町にある中間処理場の2か所に、不燃系ごみや資源物の清掃関連施設を再整備する計画を策定いたしました。まずは先行する形で、二枚橋の跡地の再整備をスタートします。市議会での議決を踏まえまして、設計・施工一括発注により作業を進めております。現在は、二枚橋跡地での粗大ごみの処理などを行う施設の基本設計が終わったところでありまして、今は実施設計に取り組んでおります。11月の下旬には市民の皆様方への説明会を行いまして、その後、建設工事、令和4年春の本格稼働を目指しまして、その作業を進めてまいりたいと思っております。12万市民の皆様方の生活を守る上では、燃やすごみだけではなくて不燃系ごみや資源物の安定的な処理にもしっかりと取り組まなければいけないと考えているところです。また、市長就任以来、鋭意取り組んでまいりました長年の重要課題であります新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設につきましては、現在、最終段階の設計工程であります実施設計の作業を進めているところでございます。市政の長年の課題である庁舎の分散状態、深刻な老朽化、第2庁舎の賃借期間の長期化と財政的課題、こういった様々な課題を克服すべく、全力で取り組んでまいりたいと思っております。私からの市政報告は以上でございますが、せっかく婦人会館にやっけてまいりましたので、小金井市予算概要という資料をお開きいただき、この地域の話をしたいたいと思っております。まず、17ページの一番下のところが、

先ほども申し上げました東小金井駅北口土地区画整理事業の今年度の予算でございます。そして、21ページをお開きいただきたいと思います。2点ほどお話をします。一番下、緑分館。緑センターのことでございますね。緑センターにつきましては、新たに電気窯を設置したところであります。大変、市民要望が強かったところです。今後、浴恩館公園の関係で、今様々な協議が行われているところであります。文化財センター、浴恩館公園は東小金井地域のとても大切な財産でありますので、引き続き市民の皆様方に親しまれる施設でありますように、鋭意様々な検討を行ってまいりたいと思っております。下から2つ目、総合体育館の大規模改修工事を現在行っております。平成になって間もない頃、この総合体育館は開館いたしました。一定の年数がたっておりまして、より安定的に使えるように、今大規模改修工事を行っています。現在は利用を停止している状況であります。プール、空調などをやっております。どうか御理解をいただけますようお願いいたします。なお、猛暑対策ということで、総合体育館の大体育室には、今年の夏、初めてエアコンが稼働いたしました。暑い夏や寒い冬でも安定的に利用できるように、空調を導入いたしました。また、公立小中学校の体育館のほうにもエアコンの設置を進めまして、今年は小学校9校、全校、体育館へのエアコン設置、そして来年度までには、中学校5校への設置を私としては目指してまいりたいと考えているところでございまして、猛暑対策にも取り組んでおります。学校のほうは、かなりエアコンの設置が進んでおります。あとは給食室ですね。給食調理の皆様方の健康を保持する意味からも非常に重要だと思っております。これを進めております。学校のトイレにつきましても、鋭意洋式化に向けまして、小金井市としてもしっかり取り組んでまいりたいと考えているところでございます。以上、私のほうから、25分程度お時間をいただきまして、いろいろな話をさせていただきました。この後は、お時間の許す限り、皆様方からいろいろな御意見をいただきたいと思っております。特に、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、私も現在進行形でいろいろな課題に取り組んでおりますので、ぜひコロナ対策に関する御意見や御感想、思いなどもお聞かせいただきたいと思っております。本日はよろしく願いいたします。ありがとうございました。

### 3 懇 談

○司会者

それでは、意見交換のほうに入らせていただきたいと思います。フリーテーマということではございますけれども、せっかく皆さんにお集まりいただいておりますので、ほかの方が聞いても分かるような、皆さんで共有し合えるような、意見を出し合えるようなテーマを御提供いただけると幸いです。また、今回は非常に多くの方に御参加いただいております。なるべく多くの方に御発言いただきたいと思いますと考えておりますので、できるかぎり要点を絞っていただいて、簡潔にお話しいただき、できれば二、三分程度にまとめて御発言いただければありがたいかなと思います。時間が限られているということもございますので、もし発言で5分を超えるような場合には、私のほうから、もしかしたらお声をかけさせていただくこともあるかと思っておりますので、御理解と御協力のほどお願いしたいと思います。それでは、御意見のある方は挙手をお願いできればと思います。よろしく申し上げます。どうぞ。

#### ○市民C

こういう会には初めて参加させていただきますが、前原町の〇〇と申します。5点ほどございまして、1点が、勉強不足で聞きかじりばかりなんですけれども、連雀通り、それから栗山公園のところの大きな通りがありましたよね。この通りを南北に整備するというのを聞いているんですが、これがどうなっているのかというのが1つ。あるところで聞いたところ、国分寺辺りと合併したらどうなのという話を私が申し上げましたら、そうじゃなくて、例えば前原町が府中と合併したり、小金井を分割するというような案もあるように聞きました。これはどうなっているのかというのが2つ目。3つ目が、前原町から来ているんですけれども、公民館をはじめとする公共施設が非常に少なく、不便を感じております。ここら辺の改善の余地があるかどうか。4点目が、市議会議員選挙が来年初めにあるそうですけれども、定数が24から2つ減るとか減らないとかという辺りを教えていただきたい。さっき市役所の話がありましたけれども、何年の完成予定なのか。最後に、今、国で印鑑レスを取組でやっていますけれども、小金井市はどのような取組をされているのか。以上の6点、お願いします。

#### ○西岡市長

簡潔にたくさんの御質問をいただきまして、ありがとうございます。それでは、順にお答えしてまいります。御指摘の連雀通り、栗山公園からの道路問題というのは、東京都の

事業でございます第4次整備路線に選定された新しい都市計画道路についてのことでございます。3・4・11号線ということでございます。今課題となっておりますのは、3・4・11号線、南北にですね、分かりやすく言うと栗山公園から連雀通りに来て、今は住宅がありますが、そこを買収して東八道路に抜けていくと。そして甲州街道のほうまでつなげていくという計画の路線。いわゆる幹線道路です。もう1本、3・4・1号線という、同じところら辺から、連雀通りと3・4・11号線の交差点の内側付近から斜めに国分寺方面に抜けていく都市計画道路になっていると。こちらについては、東京都につきましては第4次整備路線に選定をしたところではありますが、市民や地元の皆様方からは様々な御意見があるところです。東京都の事業ではありますけれども、地元市の市長といたしましては、やはり市民の皆様方の御理解が必要だと思っております。私としてはこれまでの経緯は、時間の関係があって、若干割愛しますが、いわゆる国分寺のほうに抜けていく3・4・1号線については、東京都は第4次整備路線に選定しましたけれども、私としてはこちら見直しをするべきだと思っております。また、3・4・11号線につきましては、これまで都市計画マスタープランでは推進ということをして市としては掲げてまいりました。しかしながら、私も行政の継続性や、市民参加や議会の御議論も踏まえて策定されてきた都市計画マスタープランは尊重する立場ではありますけれども、市民の皆様方の御理解がない現状の中では、私としては、事業化に向けて、市長として了承することは困難だということをして、東京都知事にはお伝えしているところでもあります。現在、東京都のほうでは、環境概況調査や、あるいはこの間、オープンハウスなど、東京都の事業として様々な取組をしておりますが、小金井市も、実は都市計画マスタープランの策定に当たり、約3,000名の方々にアンケートを取りました。そうしますと、たしか56%ぐらいの方々が、そもそもこういう計画があるということを知らないという結果が出ておりますので、東京都に対してはそのアンケートの結果もお送りしまして、この事業についてはまだまだ市民の理解が得られていませんということを市長として申し上げたところでもあります。なので、現時点では、この道路が今すぐに事業化を迎えているということではないと、私としては理解しているところでございます。また、現在小金井市におきましては、合併話というのは全くありません。過去、そういった御議論があったことはあるかもしれませんが、少なくとも私が市長に就任してからは合併話ということは全くありませんし、そういうことを私として将来考えているということもありません。小金井市は小金井市として、持続可能な街として、将来世代にしっかり継承していくのが私の責務だと思っております。前原

町、公共施設が少ないという。

○市民C

分割もなしですか。

○西岡市長

分割もないですね。考えておりません。小金井は小金井市として、現在の。

○市民C

でも、10万ぐらいの都市が何個かあって、合併したほうが効率よくないですか。

○西岡市長

そういった御議論はありました。しかし、ここからは私の個人的な意見ですが、日本は政府があって、そして都道府県があって、そして基礎的自治体があります。1億2,000万人が暮らしています。この基礎的自治体の人口規模というのは、私は10万人から15万人ぐらいが適正なのではないのかなと思っています。といいますのは、これはどういう視点から見たらいいのかといいますと、小金井市の都市部でありますね。規模が大きくなると、当然財政上のスケールメリットというものはあるかもしれませんが、私は地域のコミュニティーや、小中学校を中心とする、まあコミュニティーから見た場合、やはり顔の見える関係、行政から見たときに、小金井は小学校が9校、中学校が5校、14校あります。適度な規模ではないかなと思います。ある区部の、人口が70万とか80万とか、そういう自治体に行きますと、小学校・中学校合わせて百何十校とかになります。校長先生の顔と名前を覚えるのも大変ですよ。私としては、地域のコミュニティーを考えたときには、財政的にはもちろん厳しい面もあるかもしれませんが、今の小金井市の規模、4キロ・4キロ、人口は増えています。人口密度は高いんですけども、私はこの立地条件、アクセスのよさ、すばらしい自然環境、歴史と文化、こういったことを考えると、小金井はいい街だなと思います。この規模は適正ですし、この小金井市のよさを守っていくのが私の責務だと思っています。公共施設の関係です。申し訳ございません。私も、前原町に約31年、現在は貫井南町に住まわせていただいて約10年、42年小金井市に住まわせていただいております。今後、新しい福祉会館を、坂下ではありませんけれども、

庁舎建設予定地に併設させていただくスケジュールでございますので。

○市民C

蛇の目跡ということですか。

○西岡市長

はい。ここには福社会館、そして多目的で利用できる集会施設なども活用いたします。新たな公共施設を建設するというのは、なかなか大きな課題がありますが、むしろ小金井市が抱えている課題は、老朽化してしまっている公共施設をこれからどう適正に更新していくのか。これが、非常に大きな課題に既になっているという状況であります。どうか御理解いただきたいと思います。来年、市議会議員選挙が3月に執行されます。こちらは議会の話なので、私からのコメントは控えたいのでありますが、2減というのは議決されておりません。また、議員定数削減の陳情や請願なども審議されておりますが、現在も可決されている状況ではないと、事実として思います。そういう意味では、定数24名で現状通り行われる選挙と理解をしているところであります。庁舎・福社会館の竣工時期でありますけれども、福社会館につきましては、現在実施設計の作業を進めているところでして、この設計の状況によってはっきりしてまいります。基本設計が終わった段階では、福社会館が先行という形で令和4年、庁舎は令和5年に竣工する。しかし、竣工してすぐ開業するわけではありませんで、その後、移転、また様々の準備がありますから、開業するまでには竣工から一定の期間がかかりますが、竣工はそのようなスケジュールでございます。最後、印鑑、ハンコですね。最近、先日も東京都の宮坂学副知事、元ソフトバンク、ヤフーの会長や社長を務められた副知事の宮坂さんと話をしました。今、東京都庁のほうでは、東京版デジタルフォーメーション、様々な取組をしているところでありますが、これからは5つのレスが必要ですという話をしていました。1つはペーパーレス。もう1つはキャッシュレス。それからファックスレス。それから、もう1つはハンコレス。もう1つはタッチレス。これはコロナのタッチ。いろいろなものに触らないで、例えば赤外線自動スイッチとか、コロナの関係でと。まあ、これからは5つのレスが必要です、こういう改革をしなければいけないというお話をされておりました。菅総理もデジタル庁の設置の提唱などをされておりました。小金井市は、実は小学校・中学校が非常に先行しておりました。今、カテゴリー6、大容量・大高速の回線、Wi-Fiが利用できる大工事を進めておりま



す。予算規模も、1校3,000万円ぐらいなんです。これが、掛ける14となります。これは、国や東京都の補助金も活用いたします。1人1台のChrome bookという端末機を7,500台購入してまいりましたが、全生徒が動画を見ても止まらないという。

○市民C

1年から6年までですか。

○西岡市長

はい、そうです。小1から中3までです。

○市民C

中3まで。

○西岡市長

はい。

○市民C

1年生が使えるんですか。

○西岡市長

1年生は1年生らしく、分かりやすいソフトを使って、算数とか平仮名とか、いろいろな形で、その年代に合わせた。

○市民C

機械は同じ機械なんですか。

○西岡市長

そうですね。クラウドといいまして、個人情報なども残らないデバイスを使用します。これを導入しております。小金井市役所のほうは、今、オンライン会議の準備ですとか、

端末を準備する検討もしております。まだまだテレワークにまでは入れておりません。個人情報を扱う関係もありますので、幾つか課題はありますけれども、市役所につきましても庁舎建設に合わせたICTの整備などを鋭意進めてまいりたいと、このように考えているところでございます。以上です。何か再質問がありましたらどうぞ。

○市民C

どうもありがとうございました。陳腐な質問で申し訳ございませんでした。

○西岡市長

いえいえ。

○司会者

それでは。

○市民C

よろしいですか。

○司会者

はい。

○市民D

私、50年近く前に小金井市に転入してまいりまして、それ以来ずっと、ベースは小金井市に置いているんですが、社会人になりましてからは3回にわたって延べ17年間、仕事でアメリカに暮らしておりまして、一昨年の暮れに帰ってきて、去年退職して、今に至っております。アメリカという国は、国土も広ければ歴史も違いますし、文化も違うので、単純な比較は全くできないとは思いますが、長年暮らしていたことで気づいたことを申し上げようと思います。まず、帰ってきて、私も退職して、体を健康に維持するために、街中をいろいろ歩き回っているんですが、一番大きく感じるのは道路の不整備であります。言っちゃ悪いけど、消防車が入って来られないような道が物すごくたくさんあって、これ、どうするんだろうと、非常に暗たんたる気持ちになっております。私が転入してきた頃は、

東八道路も新小金井街道もなかったんですね。この2つがちゃんと整備されるのに随分時間がかかりましたけれども、出来上がった今日は、この近辺に出来上がった商業施設ですとか教育施設、介護施設、住居、非常に成果が多く得られているというふうに思っております。先ほどの質問の1番にありましたような、道路2つが今俎上に上がっているということも承知しておりますが、これをぜひとも早く造るべきだというのが私の個人的な意見であります。これを造るに当たっては、やっぱりタイムスケジュールというのはしっかりやって、スピーディーに事を運ぶ。さっき、市長さんは、残念ながらあまりもろ手を挙げて賛成じゃないように感じたんですが、駄目なら駄目でなぜ駄目かということも、やはり市民が納得しなきゃいけませんし、そういったことを具体的にスピーディーにやっていただきたいなど。それと、道路というのは都市計画なんですけれども、同様にもう1つ思うのは、いろいろ歩き回ってみますと、小金井市には団地がまだ随分たくさんあって、入居率というのはかなり低くなっているように見受けられます。私も若い頃、団地に一時期住んだ時代がありましたけれども、今の世代は、やはり団地というのがかなり時代に遅れを取った建物になっているんじゃないかなと感じていまして、古くなっていますし、いずれどこかで取り壊していくことになるんだろうと。そうしますと、今度、ここに広大な土地が出来上がるわけなので、これをどう生かすのか。恐らく小金井市の土地でありますから、かなりの富を生むことにもなりますし、市民に対するいろいろな利便を施すことにもなると思うんですね。ですから、これを計画的に、食欲に進めていただきたいなと思っております。それから、道路と関連するんですが、交通事情ですね。非常に道路が狭いところをかなりのスピードで走っている車が多くて、特に抜け道なんかというのは、住宅街の中であつてもかなりスピードを超過した運転というのが見受けられます。私を感じますのは、住宅街に近いところの道路というのは、いわゆる一旦停止という制度があまり道路交通法にないのかなと。いわゆる優先道路と称する一直線の道は、何しろ全然脇目も振らずに走っていくと。そこに出てくる車は一応ストップサインで止まるんですけども、商業施設なんかが多いところでは、自転車なんかはあまり止まらないで、すーっ行って、よくあんな運転をしていて事故にならないなと感心するほど危ないところというのは幾つか見受けられております。こういうところは、国の道路交通法なのかもしれませんが、市のできる限りのところは一旦停止で、例えば4方向とか3方向を全部一旦停止して、先に停止した人が優先的に最初に出ていくというような交通マナー、ルールというものを確立したほうがいいんじゃないかなと。面倒くさい話ですけど、アメリカなんかでは非常にス

トップサインのところが多いです。それと、同じ交通安全で言いますと、もし私が事故でけがをしたり命を落としたりということがこの後あるとすると、実は車じゃなくて自転車だと思っています。かなりのスピードで自転車がスッと追い越していくときは、ひやっとすることが何度もありますし、非常に始末に負えないのは、自転車というのは音がしないんですよね。だから、サッと横を通って風がフッと来るので、初めて気がつく。ということは、逆に、運が悪いと気がついたときには時既に遅しということもあり得るはずなので、何か自転車に、風を受けるとひゅーっと音がするような機械、小さいものを何かつけるとか、スポークのところに鈴をつけるとか、近づいてきたことが分かるような、認識できるようなことを何か工夫しないと、結構小金井市は、いい悪いは別にしても坂道が多いですから、スピードがかなり出るんですよね。安全というものを、ぜひとも何かアイデアを出してみたい、みていただきたいなと思います。

以上でございます。

#### ○西岡市長

貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。アメリカで長く生活をされた、その体験に基づき、小金井市の街といろいろ比較いただきまして、御意見をいただきました。健康のために、最近街を歩き回っていると。ちょうどお手元に、「小金井てくてくMAP」というものをお配りしました。開いてみていただきたいと思います。これは、小金井市の保健師さんが一生懸命作ってくださった健康のためのウォーキングマップでして、4コース御紹介しております。また、これだけ歩くと何カロリー減りますよとか、歩き方などについて、また小金井の見どころ、ウォーキングに併せてこんな場所をぜひのぞいてみてくださいという健康マップです。話はそれますが、私、小金井市にはたくさんの魅力があると思っています。もちろん新しいまちづくり、新たなことにも取り組みますけれども、常々考えておりますのは、ないものねだりよりもあるもの探し、あるもの磨きをしようということをやっています。今あるもの、身近にあり過ぎてその価値を忘れてしまっているものがたくさんあると思います。新しいものにどうしても気持ちは向きますし、ほかの自治体はこんなことが始まった、こんなものができたというと、確かに注目はされるのですが、もちろんそういった努力もいたしますけれども、小金井市には既にたくさんの魅力がありますので、こういった魅力を守り、育み、磨きをかけていく。こういったことを意識しながら取り組んでまいりたいなと思っています。例えば滄浪泉

園は、今、紅葉がとてもすばらしい。小金井市立はげの森美術館、この美術の森の緑地には、小金井市初の国の有形登録文化財が2年前誕生しました。茶室「花侵庵」中村研一邸主屋、初めての国の文化財です。こういったものもぜひ見つめていただければと思っておりまして、この健康マップを御参照ください。また、坂道マップも受付で配っておりますが、小金井は国分寺崖線に沿って坂があります。三十何本もの坂があるのを御存知でしょうか。名前のついていない坂がありますけれども、坂のある形を一つの景観にして、そこに様々な歴史や文化、景観を生み出します。坂道マップも大変好評だとお伺いしております。ぜひ歩いてみてください。様々な御意見をいただきました。いわゆる都市計画道路、幹線道路の整備は、しっかり造るべきだという御意見でございます。御意見として受け止めさせていただきたいと思えます。小金井市の交通事情、道路事情で、一番大きく変わったのは、開かずの踏切がなくなったことでもあります。私も南口、坂下で育った人間であります。当時を振り返ってみれば、横断歩道橋を渡らなければほとんど北口には行けず、踏切は大体いつも閉まっていた状態。南北分断と言われておりました。これが高架線になりまして、小金井は大きく変わりました。このことによって、小金井市の交通動線が大幅に改善いたしまして、大幅にといいますか、劇的に改善したと思っております。この高架線の誕生に併せて、ムサコの南口の再開発も進めてまいりましたし、東小金井の北口の区画整理も行っております。御指摘の、住宅街などの緊急車両の入れないような狭い道や、私道のようなところを一気に拡幅するというのは、なかなか正直難しい面がありますが、少なくとも人が最も集まる駅周辺につきましては、私はずっと、この間一貫して、市議会・都議会議員時代からまちづくりを推進してまいりまして、南口がやっと完成いたしました。あそこも、駅周辺だけが、木造家屋が密集していた場所でもあります。ロータリーも、タクシーが七、八台入ったらいっぱいいっぱい。歩道も狭かったです。今は9倍の広さになりました。北口のほうも少し整備が進んで、残すところあと1か所、東側のところの東京都の道をやっていただきますと、さらに改善します。ヒガコの北口も、現在ロータリーを中心に区画整理事業を行っているところでもあります。道路につきましては、どうしても沿道の地権者の方々の御理解がなければ何らかの事業というものは進まないものでありますので、そういった点については、私も、必要な計画がありますので、現在小金井市として進めている計画、例えば区画整理道路でありますとか、その他ありますけれども、しっかり取り組まなければいけないと思っております。また、団地についての質問、建て替えについての御要望もありました。小金井市の場合は、ほとんどの団地はJ K K、東京都住宅供

給公社が運営している団地であります。小金井の団地を見てみますと、国家公務員住宅という大きい団地が以前ありました。多くの方々がお住まいでしたけれども、あちらは既に建て替え整備も終わりました、かなり変わりましたね。そして創出用地には、新しい3つ目の特別養護老人ホームが開業しました。現在は、今の計画では本町住宅、御存知でしょうか。国家公務員住宅の東側ですね。5階建てでエレベーターのない、非常に築年数の経過した団地ですが、こちらは全部調査が終わりまして、J K Kさんのほうで建て替え計画が今進んでいます。地元の市民の方々、住民の方々への説明会も終わりました、いよいよこれから北側の半分ぐらいを一度全部更地にして、新しい団地が、マンションのような形で生まれ変わります。そこにも新たな空地ができるんですね。そこには、小金井市内では4つ目となります新しい特別療護老人ホームをぜひ誘致していただきたい、開業していただきたいということ、市長として東京都に要望いたしました。併せて、特別養護老人ホームという高齢者の視点だけではなくて、子育て支援の機能もぜひ加味していただいた、市民の方々にとって望ましい施設をぜひ建設していただきたいという要望を出したところ、東京都のほうも同じ視点でやりましょうというふうに言っていただいております、現在その準備が進んでいるところであります。住宅につきましては、御指摘のように、小金井だけではないんですけれども、多くの課題を抱えています。特に、耐震性ですね。一番大切なことは耐震性、安全性ということでございますので、小金井市も東京都市長会を通じまして、団地の再生などにつきましては要望し続けているところでございますので、これからも取り組んでまいりたいと思っております。交通安全対策についてでございます。御指摘のように、現在、車はハイブリッドや電気自動車が普及され、住宅街などを走るときは、背後から来る車の気配を感じる事がなかなかできないですし、運転されている方もクラクションを鳴らすわけにはいきませんので、お互いが、歩行者の方が気づくということに多少タイムラグがあったりするでしょうし、また、自転車の事故が昨今大変多発しています。また、命に関わるような自転車の事故も起きております。私といたしましても、御指摘のように、交通安全対策は市民の皆様方の命を守るとても大切な取組なので、小学生の子たちを対象にした、いわゆるマナー教室。運転というものは、何よりも運転する人、一人一人のマナーとルールを守る意識だと常々思っていて、もちろんまちづくりの観点から、減速をさせたりきらきら舗装をつけたり、ハード面からですね、一旦停止、これも必要な判断だと思います。まだまだ、人口が増えている中で、ここは危険なので信号をつけてほしい、ここはこのような形でミラーをつけてほしい、横断歩道をつけてほしい、こう

いった御要望は多数寄せられているところでありまして、取り組んでまいりますが、この件は必ず小金井警察署との協議が必要となります。また、警察が持っている権限という問題がありますので、小金井警察署の方々とは担当が常々、日々意見交換をして情報を共有しておりますので、改善できるところはしっかり改善していきたいと考えているところがあります。私からは以上です。もし何か再質問がありましたらどうぞ。

○市民E

はい。

○西岡市長

よろしいですか。

○市民D

はい。

○西岡市長

大丈夫ですか。どうぞ。

○市民E

私は2点申し上げたいことがありまして、まず、私は東町に住んでおりまして、足がちょっと悪いものですから、東分館の図書室をよく利用いたしておりますが、あそこの階段に昇降機がついているのは、市長さん、御存知でしょうか。

○西岡市長

はい、知っています。

○市民E

2年前から、あれが壊れたままになっているわけなんですね。あそこは、上は都営住宅の方たちがお住みになって、1、2階を小金井市がお借りしているという感じでございますね。それで、その昇降機がいつ行っても壊れているものですから、私も階段を上るのが

つらいわけなんですね。だから、いっそのこと2階の図書室を1階に下ろして交換したほうがいい。直す気がないのなら、そうしていただきたいと。2年もかかって申し上げていて直らないのはどうしてなのでしょうかね。それから、2点目のないものねだりは、犬を飼っておりますので、1日1回犬の散歩に連れ出さなきゃいけないわけですね。足腰が悪いものですから、ちょっと小休止する場所が欲しいわけですね。ちょっとベンチみたいなものを、そんなにたくさんでなくてもいいですから、要所要所に置いていただくと。そういうものを置くと中高生のたまり場になってよくないということもあるかもしれないんですけども、60歳以上の人しか座っては駄目とか、何かそういうただし書をつけて置いていただきたいと。私も主人の駐在でイギリスに駐在いたしましたけど、至るところにベンチがございます。ちょっとそういうことを考えていただきたいと。この2点をぜひお願いしたいんです。以上でございます。

#### ○西岡市長

貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございます。また、東センターの昇降機の設置につきましては、御要望いただいてから速やかな設置に至っておりませんことのお詫びを申し上げたいと思います。担当共々、鋭意検討をしております。私も現地は何度も見ております。都営住宅と併設ということでございますので、東京都との様々な調整も必要ということで、一定の課題があるということでございまして、鋭意対応しております。また、私どもからも東京都に対して、早期の改善に向けた要望をさせていただいているところです。令和3年度、来年度中には一定の改善が見えてくるように、引き続き努力をさせていただきたいと思います。図書館を1階へという御要望をいただきましたけれども、1階と2階を全部取り替えるような対応というのはなかなか難しく、1階を使う方も非常に多いんですね。本当に御迷惑をおかけいたしますが、私もまた改めて担当にお伝えしますので、もう少しお時間をいただきたいと思います。申し訳ございません。それから、ベンチですね。私も市長に就任する以前から、ベンチを置いていく必要があるなと感じておりました。非常に個人的な話になりますけれども、数年前に私の父は他界してしまいましたが、心不全と脳出血を両方患いまして、5年間介護生活でした。体の左半分が全部麻痺をしてしまっていました。リハビリをして、何とか杖をついて、家の近所だけはゆっくりゆっくり散歩できるようになったんですね。そんな父からも、以前、ちょっと休めるところがあるとうれしいなという声を聞いていました。私の元にも市民の方から宛ての、もっ



とベンチを置いてほしいです。市議会の皆様方からも、様々な御要望があります。まだ十分ではありませんが、私が市長に就任してからは、例えば庁舎建設予定地、あそこにオーケーストアという大きなストアがございますね。あの北側、ガードを越えて、メガロスさんという大きなスポーツセンターがあります。あそこの歩道に、5つほどベンチを置かせていただきました。また、桜も植えたんですね。非常に好評でした。潤いと安らぎを感じる、少し休憩という、お散歩のときにちょっと座れる、腰かける。武蔵小金井駅の南口の再開発エリアにも様々なベンチを置いていただきましたし、また、ベンチもいろいろな種類がありますね。座るといよりは少し寄りかかるような、椅子のようなスタイルというんでしょうか。席の位置は高いんですが、寄りかけられるようなスタイルのものもございます。こちらも、コミュニティー道路に設置をさせていただきました。また、バス事業者の方々にも協力を呼びかけておりまして、武蔵小金井駅の北口などに今までベンチはなかったんですが、バス事業者の方が自ら設置をしてくださいました。ベンチをもっと置いていきたいのと、遊歩道などにもベンチの設置を展開しているところですけども、その場所が、ベンチを置いても、もしベンチを置くことによって自転車などの通行の妨げになって、逆に交通事故が起きてしまうようなことがあってはなりませんので、置かれている歩道の状況、広さ、またどれぐらいの方々が利用されるのかなど、そんなことも考えながら、私としては、引き続きベンチの設置をもっと増やしていきたいということは常々考えているところでございます。私からは以上です。再質問があれば。

#### ○市民F

よろしくお願ひします。本町5丁目の〇〇でございます。第2庁舎は今、耐用年数が50年なんですって？ それで、また何か、新しい市庁舎を蛇の目の跡地に建てるといふけど、60年という耐用年数をめどにという話を聞くんですね。ところが世界は広いんで、ルーヴル宮殿やバッキンガム宮殿というのは何百年ももっているでしょう。正倉院だって東大寺の大仏殿だって、何百年ももっているんだから。当然、修理はしますよ。修理は今この時代だって必要なですよ。東京都庁だって、雨漏りがするというんで修理したと。だけど、何で第2庁舎を造るときに50年の耐用年数とか、今度新庁舎を造るんだって60年って、ちんけで話にならんといふかね。今の日本の、世界に誇れる建築技術ですれば、バッキンガム宮殿や、ロンドン塔だとかルーヴル美術館みたいな、耐用年数が無限といふぐらい長いような建物もできるんですよ。今の日本の技術からすると。何でそういうふ

うに、60年をめどとして新庁舎を造ろうなんて、そんな意見が出るのが分からないんだよね。

もう1つ。免震と耐震があって、新しくできる福祉会館は免震で、市庁舎のほうは耐震だと。だけど、免震なんかは真ん中に鋼のスプリングを入れて、周りをゴムで固めてやるっていうんだけど、免震なんていう歴史はほんの20年かそこらのものでしょう。研究期間はもうちょっと長いかもしれないけど。だけど、日本の耐震構造技術というのは何千年来、研究に研究を積み重ねて、耐震構造と。日本の建物って大部分がそうでしょう。だから、そのところを何で耐震に全部しないのか、それが分からないんだよね。

それからもう1つ。これは大事な話なんですけど、つまらない話かもしれませんが、道路で、路側帯はペンキが白ですよ。それから、マンホールの周りにぐるっと黄色ですよ。黄色というのは、時々道路の真ん中に引かれているものがある。ところが、白色と黄色というのは滑るんですよ。ところが、赤と緑のペンキっていうのは滑らないんですよ。これは、中の砂の密度が高い・低いの問題じゃないのかなと思うんです。私もよく知らないけど。だから、緑と赤はいいですよ。ただ、黄色と白はもうちょっと砂の量を増やしてもらわないと、横断歩道なんて安全なはずの通り道が、すてんと転んで自動車にひかれたなんていったら、すみませんじゃ済まないですよ。以上のことで、お願いします。

○西岡市長

大きく3点ですね。新庁舎や、現在市がお借りしている第2庁舎の耐用年数について。2点目が、新庁舎、(仮称)福祉会館の耐震構造について。3点目が、路側帯の色や、路側帯の、何ていうんでしょうか。

○市民F

砂の量ですね。

○西岡市長

構造というか、材質についてということだと思います。まず、御指摘いただきました第2庁舎は50年という話は、私は確認しないと分からないので、今お借りをさせていただいて二十四、五年目を迎えていこうという状況かと思いますが、建物には一定の耐用年数というものはあるかと思いますが、しかし、大規模修繕などをしながら適切に管理をして、

長寿命化、なるべく長く使っていくことが望ましいですし、ライフサイクルコストというものを事前に念頭に置いた設計をしていくことが望ましいと思っています。新庁舎60年とおっしゃいましたけれども、現時点で60年とはまだ定めておりません。いろいろな検討が行われております。先ほども申し上げましたように、耐用年数は使い方、そしてその後の手の施し方によって長寿命化をすることもできます。基本設計の説明を受託者の方からした際には、これは設計者の方の思いというものはありますが、小金井市が造る新しい庁舎については、途中大規模改修などをしながら、100年ぐらいは利用できるような庁舎を造っていきたいといった思いも表明されております。私としても、実施設計の中で、長く利用でき親しまれる、そして将来のライフサイクルコストにも効用を発揮する設計を進めていきたいと考えているところであります。ちなみに、現在利用している市役所本庁舎は、もう築55年。そのお隣の西庁舎については60年前後ということでございまして、今、全国でも有数の歴史を積み重ねてきた庁舎を利用しているところであります。御指摘の耐震構造は、非常に重要な視点でございまして、庁舎については免震構造、そして福祉会館につきましては耐震構造。そして、受託者の方々の持つ技術などを活用していきながら、より強固な、そして安全性の高い複合施設を建設させていただきたく思っております。コストや工期、また国から示されている通達などを踏まえて検討を積み重ねてきた結果、また市議会の皆様方からも、福祉会館を早期竣工というような御意見も何度もいただいてまいりました。こういったことを踏まえた検討を行いました。免震構造につきましては、専門家ではありませんけれども、確かに歴史的に見れば一定の期間ということかもしれませんが、東日本大震災のときにも、免震構造を採用した市役所に市議会の皆様方も視察に行かれましたし、私も関係者の方からの話を伺ったことがありますが、やはり免震構造の効果というのは非常に大きいというふうに思っております。防災拠点でございまして、庁舎はその後の市民の皆様方の生命・身体・財産を守るための拠点となります。そういう意味では、やはり免震構造が望ましいということ、ずっとこの間検討を進めて出してきた結論であります。福祉会館につきましては、これはちょっと専門的な話になりますが、国が示している基準がありますが、I類ということで、ある基準がありますけれども、その中でも最大限耐震構造の強い建物を建築していくということで、今、実施設計を進めているところでございまして、そして最後の質問が、私も明確にお答えできるかどうか分かりませんが、大分その後技術は進み、なるべく滑りにくい構造を、東京都などが採用していただいていると思っておりますけれども、やはり安全が大事だということは御指摘のとおりなので、

色については小金井市だけではなかなか、独自に色を変えるというのは難しいかもしれません。小金井市だけが。

○市民F

色を変えるんじゃなくて、白と黄色に砂を多く混ぜればいいんじゃないですか。

○西岡市長

はい。なので、ラインの滑りにくい構造をぜひお願いしたいという御要望があったという事は踏まえていきたいと思います。最後のところは、私も専門的なところがお答えできなくて申し訳ないんですけども、御要望として承らせていただきたいと思います。

○市民F

ありがとうございました。

○司会者

一番後ろの青の。

○市民G

関野町で、おやじの会やら子どもの居場所づくりとかをやっていまして、子育て支援とか地域のつながりというのをテーマに、普段はサラリーマンをやっているんですけども、週末にそういったことを、趣味でいろいろ地域に関わらせていただいています。健全育成なんかのほうにも副会長をやらせていただいたりとかして、子どもたちを見ているんですけども、市長が施政方針演説で、最後のところに、一人一人がつながるとか、コミュニティーの希薄化を生まないとか、多様なつながりというところで、市役所がコーディネーター業務を果たすというふうにおっしゃっているところで、僕はすごく共感というか、ようやくこういうことを書いてくれたなという気がしております。地域のつながりとかそういったことは、例えば福祉と教育と、それからまちづくりと、あとはケア対策みたいなのところもあったりとか、いろいろなところと、実は縦割りで市役所のほうがあって、うちがこれがないと嫌だとか、うちがこうだという感じで、それぞれの現場が市長の思いというかミッションを共有できているのかどうかというところが、非常にまだ疑問だなというふう

に思っております。特に社会教育に関するところで言うと、例えば自治会ですとか、健全育成ですとか、子供会ですとかは、実はすごく、担い手が高齢化しているなり、加入率がどんどん減って行って、新しく入ってきた方々、要するに若い御夫婦たちは、子どもを地域に出すという認識がほぼ抜け落ちているケースがかなり多くて、例えば地元で餅つきとかをやっても、最近高学年はほとんど出てこない。そういったことが起きていて、実は地域離れが今すごく進んでいると。文科省のこの間のやつでも、実は小金井市の6年生は、地域の行事に参加したというのは東京都の平均以下です。教育委員会に聞いてもらえば分かると思うんですけども。そういったことも含めると、例えば環境政策課とか、図書館、公民館、いろいろなところが、これまでの昭和のやり方じゃなくて、お金のない中、どうやってつながりをやるかというコーディネーターの役割をしないと、恐らく地域の関係というのはどんどん薄まっていくと思います。これから高齢化が進んで行って、要は福祉で、お互いの顔の見える関係で、あのおじいちゃん大丈夫か、おばあちゃん大丈夫かというのも、地域のつながりがない限り、市が幾ら頑張ったって人数が少ないわけですから。

そういったところで地域のつながりというのをどうやって、緩くです、以前みたいな、自治会のああいうぎちぎちしたのは皆さん嫌だと思うので、どうやって緩く取り戻すかというところでいくと、例えば子育てをきっかけに地域に出ませんかとか、退職された皆さんに関しては、地域でイベントをやるから一緒にやりませんかとかというコーディネーターが必要ではないかというところがすごくあります。実は、いろいろなところでそういうことを導入したり、一時的にミッションとして雇って仕掛けたりという自治体はいろいろありますので、市長の思いをどうやって落とし込むのかというところを具体的に伺いたいというところが1つ。それから、もう1つ。市民協働についてです。いつまでたっても、支援センターは準備室になっています。これまでも、僕は市民協働のやつ、一回応募をしたりとか、いろいろ見について、関心があるのでやっているのですが、大体やっただけというふうにはしか見えていないところが非常に残念です。この間の市の財政のゲーム、あれも、市民でやってみようというのでやっていたんですけど、やったのは市民だけなんですよね。財政課の方がまるっきり出ていないので。あれは、本当は市役所の方が体験して、自分たちが、これから財政が少なくなる中、どうやって政策を取捨選択していこうかということを訓練するためのゲームなんですよね。だから、そういうことをやらなきゃいけないはずなんですけど、なぜか市民協働で、役所の方がほとんど、特に財政課の方は出ていないということもあって、市長のミッションをどうやって市役所の、教育委員会も含めてで

すけど、共有してもらおうかというところに関してはどうお考えでしょうか。

○西岡市長

御意見・御質問をいただきまして、ありがとうございます。また、日頃から地域で本当に大活躍をしていただきまして、ありがとうございます。非常に大切なお話をさせていただきました。また、私が常々考えているところです。新型コロナウイルス感染拡大が広がって、私が心配したこと、もちろん、それは命と健康なんですけれども、今まであったコミュニティがなくなってしまう、消失してしまうのではないかと。約2か月間でありましたけれども、緊急事態宣言中は、普段普通に会っている人たちと会えなくなる。オンラインや電話、メール、LINE、いろいろな手法がありましたが、私の母などはそういったことができません。一緒に生活をしていますが、毎週楽しみにしていた「さくら体操」、そこに行けば必ずお友達と体操をしたり、一緒にお茶を飲み、お昼を食べて帰ってくる。それが楽しみ。それがなくなってしまった。コミュニティの希薄化というのは、イコール孤立化を生みます。そして孤立化というのは、御承知のようにいろいろな深刻な事態を発生させてしまいます。私としては、新しい住民も増えています。小金井市は学生も多い街。ちなみに、東京都が発表している直近の小金井市の市民平均年齢は、44.11歳です。多摩で2番目に若いんですね。一番若いのは稲城市になります。43.9歳と、そんなに差がないんですね。非常に若い方々が多い。そして、町会の加入率は4割を切っています。30%台。以前は活発だった子供会も、今は加入人数、かなり参加率が減ってしまっています。御承知のように、小金井だけではありませんが、東京は子どもたちが地域と関わる環境が少し減ってしまっているという御指摘はあります。ただ、そんな中で小金井市は、数字で見れば確かにそういう傾向もあるかもしれませんが、私から見えている今の、今日も、実は午前中、軟式野球連盟の少年の部の決勝大会へ行ってきましたが、スポーツ、文化、サークル、NPO、いろいろな場面でも、小金井はもともとあったすばらしいコミュニティを守るためにたくさんの人が頑張ってくださっているのも誇りだと思っています。そういう意味で、まさにこのコミュニティ、人と人とのつながりというものをどうやって保持していくのか。そういう思いから、私も施政方針に、これは5年目の施政方針でしたけど、初めて、私としては、2期目を迎える最初の施政方針になるであろう、この思いを書かせていただきました。この施政方針は、こういう資料をお配りしております。1年に1回、当初予算のときに、今年度の私の掲げる政策や運営方針などをまとめたものでご

ざいます。こういったものを具体的にどう落とし込んでいくんだということですが、1つは、まず学校というフィルターですね。学校という要素。小学校、中学校、学区というもの。学校という存在。ここに私は着目してまいりました。大熊教育長ともいろいろな話をしておりますけれども、コミュニティ・スクールというものが今、緑小から始まって、モデル学校としてスタートしております。地域立、学校というフィルターを通じて、そこに住む高齢者の方と子どもたちが出会う場であったり、あるいは子育てについて共に学ぶ合う場所であったり、あるいは社会教育や生涯学習の分野に関わる団体の方々とつながる場所であったりということで、一つの私の具体的な思いとしては、コミュニティ・スクール構想というものは、これからの小金井市のつながりを深めていく上で非常に具体的な取組になっていると思っております。これはぜひ推進していきたいと思っておりますし、大熊教育長も思いを共有しているところです。あとは、コミュニティーが希薄になったときに本当に心配なのは何かと申し上げますと、防災です。避難所を開設したときに、全然知らない方々同士で避難所を運営するよりも、やはり顔の見えた存在で、また、日頃から何度も何度も訓練をしながら運営していくのでは全然違います。それは、過去の阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震しかり、地域のコミュニティーのしっかりしているところとなかなか課題があったところとでは、その後の対応にいろいろな差が出ているという分析結果もあります。私は防災という視点を大事にしなければいけないと思っております、こちら避難所が学校になるんですね。学校という存在が非常に重要になってくるわけです。ですから、無理に町会・自治会に加入加入と言っても、なかなか、おっしゃるように入ってくれませんし、また、今、役員の成り手がいないんですね。役員の方々が非常に高齢化されていて、これは大きな課題なんです。ですから、緩くというお話がありましたけれども、これからの地域との関わり方というフィルターを構築していくという意味では、私が申し上げましたコミュニティ・スクールと、防災という視点に軸足を置いたコミュニティーの在り方というのはつくっていく必要があると思っております。あともう1つは、これから高齢化社会になります。小金井市は、高齢化率が21%。全国の平均が28%。平均年齢も若いので、比較的高齢化率は少ないんですが、確実にこれから超高齢化社会を迎えてまいります。認知症対策も必要となってまいります。3つ目の側面としては、高齢者の方々が、特に元気な方々がより元気でいられるようなネットワーク、「地域包括ケアシステム」というものを今検討しております。在宅でもその人らしく暮らしていける。地域で医療、介護、福祉のネットワークをつないで、つまり高齢福祉イコール施設入所ではない

という考え方。もちろん特別養護老人ホームの建設も4つ目を造るのですが、このことだけを進めていたのでは、正直申し上げましてとても追いつきません。したがって、コミュニティ・スクール、そして防災、そしてもう1つは「地域包括ケアシステム」という仕組みの中で、高齢者の方々が生きやすいネットワークをつくっていくということ。私が、特に具体的に着手していきたいと思って取り組んでいるのは、この3点になろうかと思えます。市民協働支援センターが早く準備室にということでございますが、(仮称)新福社会館の機能の一部となる重要な要素を担っていただいております。この市民協働支援センターにつきましては、福社会館の開業とともに、その機能がより生かせるように努力してまいろうと思っておりますが、まだまだ十分その思いが共有できていないという御指摘は十分踏まえて対応してまいりたいと思っております。以上です。何か再質問があったらどうぞ。

#### ○市民G

協働センターのほうは、協働センターだけでやると、恐らくほかの市役所の部署の方は「俺は知らね」というところがあるとは思っているので、ぜひ、例えば公園課とか、環境政策課とか、都市計画課とかいろいろあるんですけど、市民協働をやったらその部長さんに金一封みたいな感じでちょっと評価をあげるとか、「市民協働をやらないと、おまえら、いい点数つけないぞ」ぐらいの、評価システムをがらっと変えるような発想も必要かなということは、すみません、素人考えでものを言いますが、そういうのが一つあります。あともう1つ、コミュニティ・スクールを核に、そして防災にということになると、今の教育委員会の体制でいいんでしょうか。この間のGIGAスクールも、結局、生配信できないということで、うちのメンバーの有志で手伝いましたけれども、あまりにもミッションが大きすぎて、教育委員会は今パンクしています。GIGAスクールは、教育長は一生懸命突っ走っていますけれども、下の方がついていけなくて、具体的に何をやったらいいのかという状態に今なっているので、GIGAスクールをやってさらにコミュニティ・スクールをやるとなると、教育委員会があの人数とあの体制ではちょっとあれかなという気がします。例えばほかの部署から、合同ミッションでプロジェクトをやるとか、何かうまいことやらないと、多分1ミリも前に進まないかなという気もちよつとしますので、ぜひ御検討いただければと思います。

#### ○西岡市長



ありがとうございます。協働事業についてでございます。私、市長に就任してから、市民協働提案制度というものを実施させていただきました。これは、非常にいい取組だと思っています。市の職員にとってもいい取組です。今までこういったことには取り組めませんでしたので、市民から提案があった事業を1つ採択し、そこに予算も措置をして、そして職員と市民の皆様と一緒に同じ目的を、ミッションを持って共同提案事業を実施していく。これまでに4回やって、いよいよ次、5回目の募集がスタートしているということでありますので、まずはこの協働事業をスタートとしていきます。それから、あまりPRはしていないのですが、とてもいい取組だと思っているのは、実は小金井市役所では、毎年、入所年数の若い市の職員を、市内の15ぐらいのNPO団体に派遣をさせていただいております。そして、NPOの皆さんと一緒に仕事をさせていただいて、NPOの役割とか、NPOが抱えている課題でありますとか、その中で市と協働できる道筋は何なのかとか、こういうことで、毎年、恐らく30人程度の職員を、派遣してやっています。これはとてもいい取組で、やっぱり体験が非常に重要だと思っているんですね。頭で考えることはできても、それを一緒に取り組むというのは行動が伴いますので。こういった取組をこれからも推進してまいりたいと思っておりますが、正直申し上げまして、小金井市の協働についてはまだまだ課題があると認識しておりますので、一生懸命努力してまいりたいと思っております。それから、教育委員会の体制は、御意見として承りました。ただ、この間のGIGAスクール構想、本当にありがとうございました。一つのモデルでもあると思うんですね。「そういうことがないように全部市の職員でやりなさい」という考えもあれば、「いやいや、こういうところ、苦しんでいるので、大変だから、地域の方々の力を借りようよ」と、この道もあると思っているんですよ。だから、私としては、市民協働という言葉よりは、市民や地域の力がもっと生かされるという言葉を使っているんですね。小学校・中学校のお父さん、お母さんには、本当にインターネットの専門家もいれば、あらゆる分野の職業、社会人がたくさんいらっしゃるわけですね。こういった方々と、時に一緒に取り組むと。GIGAスクール構想のオンライン配信がなかなか教育委員会ではできなかったら、「お父さん、力を貸して」ということで、一緒にやるというのは、これは私、むしろ非常によかったと思っているんですよ。ですから、私の思いとしては、努力はするのですが、全てのことを全部市の職員で担ってしまえば、それはまさに、昔ながらの昭和のお上思考みたいな感じになってしまうので、こういった協働の道というのは、むしろGIGAスクール構想はモデルを示していただいたと、こう思っているところであります。以上でござ

います。

○市民G

ありがとうございます。市役所が弱音を吐いても僕はいいと思っているので、そういう発想の転換はぜひお願いしたいと思います。ありがとうございました。

○市民H

よろしいですか。東町の〇〇と申します。先ほど道路の件で御意見をおっしゃった方が、その方は道路がぜひ早く進めてほしいという御意見でしたので、逆のほうの立場から。私はこの頃、コロナの関係で行くところがないことも併せて、野川を本当にひたすら歩いております。そして、こんないいところに自分は住んでいて、退屈もしないし、まず足が丈夫でなければ歩けませんけれども、歩くことによって自分の体は日々元気になっていくような気がします。それだけの恵まれた環境を、何としても残したいというのが希望ですね。そういうことで、最近知り合いの方から署名を集めるように頼まれまして、道路建設、2つありますよね。ぶち抜くやつと、はげに沿って造ると。両方に、西岡市長はあまり、ぜひ、やめてほしいといえますか、造らないでほしいというのが本当のお気持ちのようですが、これも、これが決まったのはもう30年ぐらい前の話でしょうね。多分、最初に持ち上がったのは。それから情勢というのは随分変わってきて、人がどこに価値観を置くかというのは、なるべく車でバツと行ったほうが良いという考えの人ばかりではなくなってきていると思うんです。今は何としても、小金井市は自分たちの宝のはげを残すということに力を注いでほしいと私は思いますし、多分両方の考えがあると思うんですが、一度決めたことはどうしてもそのままやらなくちゃいけないということではなく、本当にもう一度市民の方の声を聞いてほしいと思ひまして、改めてお願い申し上げます。

○西岡市長

先ほども御質問がありました都市計画道路についての御意見ということで、拝聴させていただきました。まず、市長としての基本を改めて申し上げますと、市民の皆様方の大半は、小金井市のよさは何ですか、小金井市の魅力は何でしょうか、これから将来世代に残したいものは何ですか、それはいろいろな回答が来ます。コミュニティーであったり、人と人とのつながりであったり、歴史や文化であったり。でも、一番関心が高く、常に上位

になるのは、緑、自然環境です。このすばらしい自然環境を将来世代に残していくことは、とても大切な使命だと思います。この地図を御覧になっていただければ分かりますように、小金井市は4キロ・4キロという1平方キロに12万3,000人の方がお暮らしになっています。東京の本当にど真ん中、中央部にあります。そして、市の形が非常によくて、中央線がまさに真ん中を走っていて、東小金井、武蔵小金井、2つの中心的な駅がありまして、新小金井という駅もありますが、駅を線にして北に行く、南に行くと、どんどん街がのどかになっていきます。そして、東京都の中央部にありながらも都市農業も活発でありまして、農地も残っています。しかしながら、小金井市では、緑被率、緑の比率は減少傾向がずっと続いています。現在新しい環境基本計画や、緑の基本計画を策定しているところではありますが、このすばらしい緑を残していきたいと。また、都市農地も年々減少してきておりますが、国の法律も変わりましたので、新しい法律を生かしながら農地も残していけるように努力していきたいです。そして、国分寺崖線。はげの自然環境は、小金井の財産です。これは間違いありません。この財産を将来世代に継承していくというのは、とても大切なことだと常々思っているところでもあります。どのように進めるかは先ほども申し上げましたように、3・4・1号線については、事業の見直しをすべきだということをお池都知事にはっきり申し上げてまいりました。3・4・11、南北については、市民の皆様方の御理解が得られているとは、今、私も思っておりませんので、私、西岡真一郎が、市長という立場におきましては、市民の理解がない状況での事業化については了承することはできないということもはっきり申し上げてまいりました。現在、環境については、東京都のほうが環境概況評価というものをスタートいたしますので、そこで様々なことが判明するのではないかなというふうに思っているところです。私も、南小、二中が母校なんですけれども、野川と共にずっと生きてまいりました。本当にすてきなところです。このすばらしい住環境はしっかり守っていかなければいけないと思っているところでございます。以上です。

○司会者

あとお一方、お二方という形になりますが、よろしいですか。グレーのジャンパーの。

○市民I

梶野町に住んでおります〇〇と申します。57年、小金井市に住んでおります。今年の

2月に庁舎建設についての基本設計が決まったということで、説明会が5回ほど開かれて、私も出席させていただいております。そのパブリックコメントという形で、市民の声を、説明会の後に市の担当の方が全部集計をされた。それで、150名を超える方から意見が出たと。それから約8か月、9か月たつのですが、私もそのときの説明を聞いて、具体的に図面を引いて、法チェックもして、予算も工程もつけて、市長に手紙まで書きました。4回お電話をして、10月の末にやっとお会いすることができております。それは本当にありがたかったのですが、何で8か月もたってから聞いてくださったのかということ、それがまず1点目です。私もいろいろ、「庁舎と福祉会館の建設を考える会」ということで、みんなでチラシを作っているのですが、予算が決まる前の6月2日に実施設計の契約に踏み切られた。お金があるかどうか分からないのに、建物の代金が84億4,000万円ですよ。これ、12万3,458名という人口で割るとお幾らになるか、電卓を叩けばすぐに出てくるのですが、150人のパブリックコメントを寄せられた方々、それから市民を含めて、これだけのお金を投じるということが承認されているとお考えなんではいでしょうか。これは2点目ですね。先ほど市長が、LCCというお話をされました。私が計算をすると、LCCでいくと、約60年、100年もつというふうに設計者は言われていたそうですが、60年としても200億ぐらいかかります。この建物にかけるのは。そうすると、288億4,000万円、60年にわたり、100%小金井市民の税金でこれを造ります。私は57年小金井に住んでおりますが、決して小金井市はお金がある街ではないんですね。ですので、私が作った案と、市長が進めている案とをきちっと比較をして、市民に説明されたらどうでしょう。その比較をするのは、私や市長がするのではなくて全くの第三者。経緯を一切知らない方。そういう第三者性の目をかけて、案の評価に進んでいかれたらどうかと考えております。私も、これ、最後にします。街頭で署名活動を行っておるんです。100人ぐらいの方に説明しました。市長、ゼロですよ。今市長が実施設計を進めているという案についても丁寧に説明をし、市民が作った案、効果に説明をして、「何で市民の案でやらないの」「当然こっちでしょう」という方が全員なんですよ。誰一人いないんです。強い信念を持って1つ1つ積み重ね、たくさんの議論の上に成り立っている今の案なのかもしれないんですけれども、結果はそういうことなんです。ですので、市長がおっしゃる、市民力、市民力ということがホームページにも書かれておりますが、私のような、私も1票投じているんですよ、市長に。そして、選出されているんですね。1万八千何百票の中の1人です。ぜひ私と一緒にやってほしいんですね。そうしないと、将来の、市長

もこの1ページ目に書かれていますよね。「市民の皆様に長く愛される施設となるようにしてまいりたいと考えております」。建築を専門に私はやっておりますけれども、愛される建築というのはみんなの同意が必要なんです。みんなの同意が必要なんです。最後の質問は、みんなが同意をするというのはどういう状態だとお考えですか。以上です。

#### ○西岡市長

残りが10分となっております、今、既に4名ぐらいの方がお手を挙げられていますので、なるべくお手を挙げた全員の皆様方からお話を伺いたいと思っておりますので、簡潔に答えさせていただきたいと思います。まず、多くの方々からパブリックコメントでは御意見をいただきまして、大変感謝をしております。その後、新型コロナウイルスの感染症もありまして、なかなか市民の方々との御面会が叶わなかったという時期もございます。また、パブリックコメントに対する返答や、私自身の考え方をしっかり取りまとめたということも相まって、現状10月に御面会をさせていただいたということもございます。その間、1時間半ぐらいでしたでしょうか。〇〇様には私の考え方をしっかり伝えさせていただいたと思っておりますので、時間の関係で割愛をいたしますが、私としては市民や市議会の皆様方と長きにわたり、そして本当に様々な作業、多くの作業を積み重ねて庁舎・福祉会館の建て方について議論を積み重ねてまいりました。そして、市政や市議会という機関がございます。二代表制の機関でございます。市民代表である市議会の皆様方からの御意見や、また予算の御議決、また、いろいろな意見をいただきながら積み上げてまいりました。〇〇様も御承知のように、建物建設というものについては、本当に様々な御意見や思いがありますし、建て方につきましても様々な建て方があります。その中で、市長としてはそういったことを紡いでいくという責任がございます。福祉会館の先行竣工でありますとか、市議会の皆様方、全員ではありませんけれども、多くの方々からお寄せいただいた御意見を基にC3案というものを構築いたしました。このようにいろいろな課題を踏まえた御指摘ということは私も重く受け止めまして、現状、基本設計の大前提となる4つの条件を基にC3案の方向で進めていくという表明をし、この間、ワークショップ、こがねいミーティング、市民説明会、「市報こがねい」や様々なツールを通じまして、庁舎・福祉会館の建て方については丁寧に御説明をして、積み上げてきたところでございます。〇〇様からの御指摘を踏まえた場合は、建設計画調査からの、もう一度、再度の積み上げということになってしまいますので、私としては、早期竣工が望まれる庁舎・福祉会館につき

ましては、この4つの基本的な大前提となっている設計与件というものを踏まえた設計を進めています。現在、実施設計は最終段階に入っております、もちろん最終段階でも様々な課題があるところではございますが、コスト意識というものも持ちながら努力をしております。大きな事業ではありますけれども、これまで私の市長就任以来、約4年間で20億円近くの庁舎建設基金を積み増しさせていただきました。そして、新型コロナウイルスによって、非常に厳しい財政状況が予見される場所ではありますけれども、最重要課題の1つである庁舎・福祉会館、これは市民生活を守る上でどうしても重要な施設です。本庁舎も老朽化、そして分散状態。第2庁舎は、賃借期間が長期化。そして、福祉会館は既に建て替えができない、耐震改修ができないということで、閉館をして、その中に入っていた方々は、皆さん、暫定的に今運営をしていただいております。福祉会館も、年間9万5,000人の方が利用する非常に重要な施設でありましたので、早期竣工を目指すべきだという市議会の皆様方からの御意見も重視し、積み上げてきたところです。100%市の税金というお話もございましたが、活用できる東京都や国のモデル事業や補助制度は最大限活用したいと思っています。自家発電のところなどについても、東京都も新たな制度をつくってくださいましたので、既にそういったものも歳入面では見込んでいるところでもあります。また、これは長い間利用するものでありますので、通常の公共施設同様に地方債というものもしっかり活用させていただきながら、将来にわたる世代の皆様方としっかり負担をしながら、長く使える施設を造ってまいりたいと思っております。先ほど100年もつという断定的なお話がありましたが、先ほども何度か申し上げたように、設計者の皆さんは断定的にそう言ったのではなくて、言葉尻を捉えないでいただきたいのですが、それぐらいの施設を造っていきたいという思いを述べられたものでありますので、どうか御理解をいただきたいと思っております。以上です。

○司会者

あと最後、お一方ということで。

○西岡市長

ちょっと短めに。

○司会者

短めによろしいですか。すみません。

○市民J

幾つかありますけど、短めに絞って。コロナの問題で言いますと、発熱検査を行うというのはPCR検査なのか、あるいはほかの検査なのか、簡単をお願いします。非常に心配なところですよ。それから、財政の問題で言いますと、新しい公共施設だとか、老朽化の更新だとかということがあって、今、〇〇さんのお話のように……、ちょっと補足しますと、84億円を越す庁舎建設に対して、〇〇さんの計画では68億ということで、こういうふうに安くいいものができるよ。これからは、ほかの公共施設にしてもそうですけれども、財政が厳しい上にさらに厳しくなっていくということが続くのではないかと。貯金である財政調整基金もほとんどなくなってしまうんじゃないかという、非常に不安を持っていますけれども、そういう中で、コスト削減できるものはコスト削減を推し進めていくということが、今、非常に必要ではないかと。コロナの問題では、大きな二次保険を使ったというけれども、もっともっと必要になってくるような気がします。それから、ごみについてなんですけれども、新しい施設が稼働したら2回も水銀事故が起きてしまったと。もし小金井だということになると、小金井のごみは恐らく入れてもらえないと思いますね。私は前、あそこの施設の人たちと集会に出ましたけれども、日野を「小金井のごみ捨場にすな」ということが何十本も立っていました。最近、また訴訟の結論も出ているようで、本当に分別、特にこういう有害物が小金井から出ないようにということは絶対必要だと思っておりますし、ごみの減量については、ただ言うだけではなくて、少なくとも多くても、よく緻密に考えてやっていただきたいと思うんです。そういう面では、リサイクル事業所を閉鎖したのは非常に問題だと思っています。このことについてお答えを願いたい。意見もちょっと言いましたけどね。

○西岡市長

最後になってしまうので、私も市長主催の行事で時間を延長して使うと怒られてしまいます。申し訳ございません。ちょっと早口になるかもしれませんが、回答いたします。検査は、抗原検査を予定してございます。

○市民J

PCRじゃないんですね。

○西岡市長

はい、抗原検査です。これは、医師会の中でもしっかり検討していただいて、抗原検査の場合は判明する時間が非常に短い、当日判明するというのもございまして、また、検査の陽性率などの信頼性というところにつきましても十分対応できるという判断で、抗原検査となります。公共施設は、御指摘のように大変重要な課題です。小金井市だけではありませんが、高度経済成長期に造ったたくさん公共施設が、これから一気に老朽化、まあ既に迎えています。これをどう乗り越えていくのか。全部をそのまま更新すると、35年間の更新費用総額として、1,497億円かかるという試算が既に出ています。しかし、これは不可能です。ですから、建て替えるもの、あるいは長寿命化するもの、庁舎・福祉会館のように統合するもの、民間の活力を活用するもの、いろいろな手法を用いて、これから乗り越えていかなければいけないというふうに考えているところでございます。

それから、ごみの関係です。水銀に関しましては、非常に高性能な炉なんですね。そして、浅川清流環境組合の新しい可燃ごみ処理施設は非常に厳しい環境基準で運営をしております。その中で、水銀濃度が検知をされて、その後収束していったという状況でございます。大変重たく受け止めておりまして、早速3市では、それぞれの市で、これまでやっていなかった体温計や血圧計の回収事業もスタートしたところでございます。市民の皆様方には体温計や血圧計などを燃やすごみの中に決して投入しないでくださいということをしかり啓発しながら、新しい事業に取り組んでまいりたいと思っております。駆け足になりましたけれども、申し訳ありません。以上です。

○司会者

それでは、まだまだいらっしゃるかと思うんですけども、ここでお時間となってしまいましたので、最後に市長より一言申し上げまして、終了とさせていただきます。

○西岡市長

本日は、多くの方々に御出席を賜り、そして様々な御意見、御提言、御要望をいただきましてありがとうございました。引き続き、今、新型コロナウイルスの感染状況が非常に深刻な状況になっておりますので、小金井市といたしましても、関係機関と連携をしながら



ら市民の皆様方の命と健康、また地域、そして事業者の皆様方を、市民生活をお支えできるよう引き続き努力をまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

○司会者

以上をもちまして、令和2年度第3回市民と市長の座談会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。